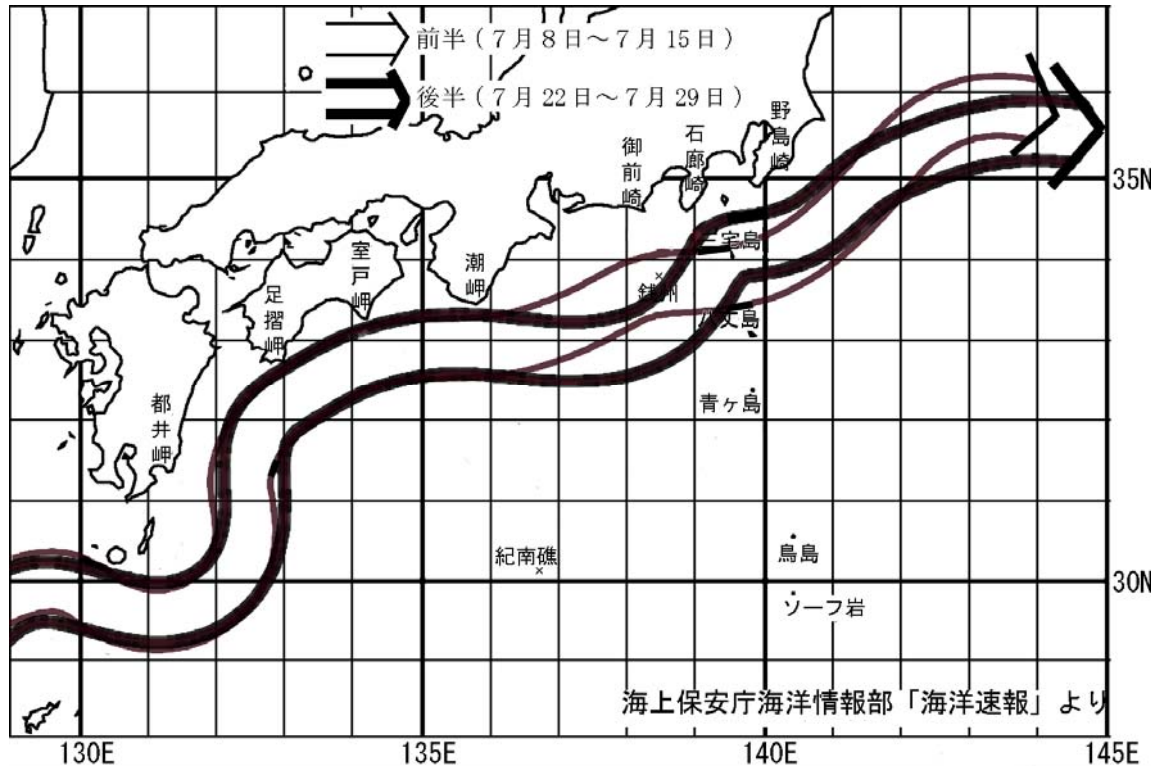


漁海況月報

平成22年 7月 1日

No. 7 ~7月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

前半の黒潮は、九州東岸～潮岬沖では概ね接岸傾向で流れ、その後、遠州灘沖 33° ~33.5° Nを東進し、三宅島付近を通り、房総沖を北東へ流れた。

後半には、九州東岸でやや離岸し、四国沖～潮岬沖では引き続き接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 33° Nを東進し、駿河湾沖を北東に向かい伊豆諸島北部の 34° N付近まで接岸し、房総沖を東北東へ流れた。御前崎沖では前半に比べ30マイル以上離岸したが、伊豆半島沖～野島崎沖では接岸傾向が顕著となり 21～25 日には遠州灘で黒潮内側反流が形成された。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 18～24℃台、駿河湾の東部では 23～29℃台、西部では 22～27℃台で経過した。駿河湾での水温は高めで、特に上旬には湾奥、下旬には全域で平年差 2℃以上が継続し、黒潮の蛇行北上部からの暖水の影響で湾東部では 24～26 日に平年差 3℃以上となった。一方、相模湾側では中旬は沿岸湧昇の影響でやや低め、上旬、下旬は平年並～やや高めであった。

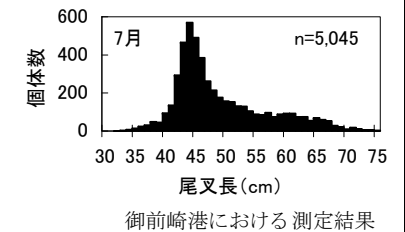
【竿釣近海カツオ】

県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 154 トンで前年同期の 50%であった。魚価は 459 円/kg で、前年同期を下回った。

静岡県近海では 33° ~34° N、138° 30' ~139° 30' E の八丈島から神津島周辺にかけて小・極小（尾叉長 44cm モード）を主体に中、大、特大カツオを漁獲した。また、大島周辺ではマメジ（クロマグロ幼魚）も漁獲された。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
22年 7月上旬	43	22	2.0	641
中旬	66	31	2.1	454
下旬	45	23	2.0	294
22年 7月計	154	76	2.0	459
21年 7月計	306	121	2.5	474
20年 7月計	193	39	4.9	294



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	23.0	22.2	21.8	24.0	25.6	23.8	23.7
	1.0	1.0	0.2	1.1	2.8	1.1	1.1
中旬	22.3	21.3	20.7	24.5	25.4	24.4	24.4
	-0.7	-0.4	-1.1	0.6	1.4	0.6	0.9
下旬	24.6	23.4	22.7	27.1	27.7	27.0	26.5
	0.3	0.7	-0.3	2.1	2.9	2.2	1.6
月	23.4	22.4	21.8	25.2	26.3	25.1	24.9
	0.2	0.4	-0.3	1.3	2.4	1.3	1.2

【定置網】

平成22年7月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は 634 トンで、操業がなかった赤石を除く 1 漁場当たり水揚量 90.6 トンは前年 21.0 トン(7 漁場)の 431%、平年値(昭和 57～平成 21 年) 40.1 トンの 226%で、1982 年以降で最も多い漁獲量であった。

魚種別水揚量は、①サバ類 386.0 トン (A : 前年同月比 1,098%、B : 平年同月比 400%) ②イナダ 144.5 トン (A : 1,390%、B : 7,065%) ③ブリ 35.5 トン (A : 273,338%、B : 7,743%) ④マアジ 20.4 トン (A : 261%、B : 67%) ⑤サバッコ 6.6 トン (A : 2,707%、B : 88%) の順であった。

サバ類はゴマサバ主体で川奈、北川、古網を中心に入網し、昭和 57 年以降でもっとも多く漁獲され、尾叉長のモードは 29 cm であった。また、サバッコ銘柄は北川に集中的に入網し、尾叉長の中心は 18～19 cm に見られ、0 歳魚と考えられた。ブリのうちイナダ銘柄は川奈、伊豆山、古網を中心に入網し、昭和 57 年以降で最も多く、過去最高値の 15 倍以上漁獲され、尾叉長の中心は 48～50 cm であった。ま

た、ブリ銘柄は7月1日に古網に35.5トン、5500本が集中的に入網し、昭和57年以降で最も多く漁獲され、尾叉長は測定できなかったが平均体重は6.5kgであり、2007年級群と考えられた。マアジは川奈、伊豆山を中心に入網し、尾叉長のモードは17cmと23cmに見られた。また、ジンタ銘柄として2.6トンが赤沢、富戸中心に入網し、尾叉長のモードは12.0cmであった。

漁場別水揚量は、川奈198トン（サバ類、イナダ、マアジ中心）、古網153トン（サバ類、ブリ、イナダ中心）、北川132トン（サバ類、サバッコ中心）の順であった。

【サバたもすくい・棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってゴマサバ832トン（前年同月比120%）が水揚げされ、1隻あたり水揚量は32.0トン/隻（前年同月比97%）であった。ゴマサバの平均単価は57円/kgで、前月（66円）を下回ったが前年同月（54円）を上回った。

たもすくいの漁場は利島等に、棒受網の漁場は三本、三宅のほか中下旬には利島にも形成された。棒受網では、尾叉長26cmモードのゴマサバ1歳魚（2009年級群）が漁獲の主体となり、20～21cmの同0歳魚（2010年級群）も僅かに出現した。たもすくいでは、棒受網よりやや大型のゴマサバが漁獲対象となった模様。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
22年7月上旬	0	263	3	8	0.0	32.8	210	61	利島, 三本, 三宅
中旬	0	287	4	8	0.0	35.8	187	57	利島, 三宅
下旬	0	282	5	10	0.0	28.2	—	53	利島, 三本, 三宅
22年7月計	0	832	12	26	0.1	32.0	204	57	—
21年7月	0	691	10	21	0.0	32.9	—	54	銭洲, 三本, 三宅
20年7月	0	973	14	28	0.0	34.7	—	72	三本, 銭洲, 三宅

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

* 中旬はマサバ27kg、下旬はマサバ9kgの水揚があったので、単価のみ記載した。

【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が194kg、遠州灘が257kgと駿河湾で低調であった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は237kgと前年同期(592kg)の40%、平年同期(過去5か年平均:383kg)の62%と前年同期、平年同期を下回った。また、総水揚量は569.9トンで前年同期(1,460.8トン)の39%、平年同期(779.9トン)の73%と、前年同期、平年同期を下回った。平均単価は747円/kgと平年同期(671円/kg)を上回った

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延続数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	36.3	16	201	181	697
舞 阪	178.8	17	759	236	701
福 田	138.1	17	449	308	653
御前崎	68.8	20	232	296	771
吉 田	102.1	19	454	225	773
静 岡	45.8	14	308	149	1,153
平成22年7月計	569.9		2,403	237	747
平成21年7月計	1,460.8		2,469	592	528
平成20年7月計	194.1		1,006	193	716

【まき網】

小川港ではマイワシが1.1トンの水揚げで平年同期(10.5トン)の10.5%であった。沼津港では、マイワシが93.2トンの水揚げで平年同期(14.5トン)の6.4倍であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。静浦港では、マイワシが60.9トンの水揚げで平年同期(0.6トン)の103倍であった。カタクチイワシの水揚げは0.3トンで平年同期(137.5トン)の0.2%であった。伊東港ではマイワシが265.3トンの水揚げで、平年同期(42.6トン)の6.2倍であった。

注) 平年同期：過去5か年(2005～2009年)平均

【調査船の動向】

駿 河 丸

7月 1日	～	7月 2日	タチウオ調査	(2日間)
7月 5日	～	7月 7日	地先定線観測	(3日間)
7月 8日	～	7月 9日	タチウオ・サクラエビ調査	(2日間)
7月 20日	～	7月 21日	短期海況・サクラエビ産卵調査	(2日間)
7月 22日	～	7月 23日	サバ標識放流調査	(2日間)
7月 26日	～	7月 27日	サクラエビ調査	(2日間)
7月 28日	～	7月 29日	マリンロボ調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

